

「この上まだ百年河清をまつのか」

山梨大学名誉教授・前山梨大学副学長・伊藤洋

町長、今年に入つて2月昭和田豊
 長、今年に入つて2月昭和田豊
 富村長、7月旧田富町長。
 この中で昭和田は住民投票
 の結果中央市では避けられ
 一時は中央市と旧玉穂田富町
 と合併協議が持たれたとこ
 の仲間の議が、敢てこれ程
 に仲間の入りしつてもらつ
 た。前記中央市公共工事の
 四町村長は全市公共工事の
 受注業者から速捕され疑
 で山梨県警に逮捕された
 人達である。逮捕された
 こうも一ヶ所に集中し
 て不祥事が発生するにつ
 いは何か原因があるのか
 ではないか。それなりに百
 とは待つかない。限りなく
 河を清めておきたい。年
 そも待つかない。限りなく
 を選んだのは、この地に
 に住民は選挙民から、
 畢竟責任は選挙民にあ
 る。残念な市出先ご
 行われたい。新しい市首
 選挙に際しては、
 情報に遺す悪臭、筆
 情に遺す悪臭、筆
 にも補つてきた。そ
 にあつたときの一
 新事案なれど、あ
 新事案なれど、あ

分権が標榜され、住民自
 治の真価が問われ、
 時代は、市民もあ
 何時となく。この
 何となく。この
 る筆者に。とい
 課せられ。とい
 日はそれ。とい
 え、この地域は、
 で最も低地に属し、釜無
 笛吹の富士川水系の
 点で古くは、水田を
 形作成して、心たそ
 稲倉地帯も、秋長雨
 穀倉地帯も、秋長雨
 れだ。よる。水害が
 のよる。水害が
 た。よる。水害が
 汗にまみれ、
 一悲劇に全滅した。夏
 うも悲劇に全滅した。夏
 ても悲劇に全滅した。夏
 そも悲劇に全滅した。夏
 は、翌年の種もつは、
 家の食糧も困窮する
 態に舞わね。窮乏な
 く露命をなす。借財
 保つた。農、その借財
 ること。農、その借財
 級化して、農、その借財
 なし。農、その借財
 握りなす。農、その借財
 「地主」と多量の無産者た
 る

る階級社会が出現したが、深刻な
う不安定な要因とならば、社会治
近代に必要となる階級は、明小治
識争目議が發生し、農民の意
民運存の権利を求め、農民の
つた。動が盛んに求め、農民の
戦後の占領政策による農作
地解放によつて、全農作
着を見たとし、農業の担
は自作農とし、農業の担
い手になつたので、農業の担
しかし、それもある。担
高度経済成長期に入ると、
と、都市部の核家族化に
よる住宅需要の急激に
応える住居の急激に
に都市化が進むと、
そこでは、土地を急激に
て流通市場に提供し、
要があつた。その結果、
と模倣作となつた。新
規土壌の離れなつた。大
かの土地の離れなつた。大
者の土地の離れなつた。大
し、山梨、長野、岐阜、
地帯、無川、左岸、大
今や、コンクリート、
グル化、リ、農耕地、
往時に比して、激減し、
ま、たのうであつた。大
ムは、誘発、膨大、開
業を、誘発、膨大、開
応を、誘発、膨大、開
者が、入る、小、建、設、業
つ、が、入る、小、建、設、業

冬、終焉、到来、し、た、建、設、業
の、時、代、は、も、の、金、で、残、り、を、
か、け、た、者、が、も、の、で、全、て、
を、籠、絡、し、た、も、の、で、全、て、
この、時、期、は、今、回、の、立、つ、不
祥、事、の、反、省、の、上、に、立、つ、不
て、公、共、工、事、に、入、札、不
つ、た、と、聞、く、と、見、る、に、入、札、不
案、が、な、さ、い、な、い、の、が、原、承、
知、し、て、不、可、視、の、部、分、が、一、理、
と、所、で、も、あ、る、限、り、の、部、分、が、一、理、
ス、テ、ム、は、も、あ、る、限、り、の、部、分、が、一、理、
祥、事、を、回、避、し、た、出、る、ば、不、
過、度、な、ほ、ど、露、出、れ、る、ば、高、
ない、陰、謀、に、微、に、繁、栄、す、
要、な、だ、か、ら、明、る、い、光、が、必
民、が、露、出、し、た、部、分、を、
民、が、露、出、し、た、部、分、を、
監、視、す、る、と、い、う、務、め、を、
こ、の、地、域、全、く、意、味、無、い、の、を、
求、め、た、戦、つ、た、農、民、主、義、の、
歴、史、が、あ、る、と、い、う、務、め、を、
市、民、の、考、慮、す、る、と、い、う、務、め、を、
て、熟、考、す、る、と、い、う、務、め、を、
毎、年、の、よ、う、に、河、川、の、
笛、吹、か、せ、無、う、に、河、川、の、
や、ん、か、釜、の、流、れ、を、
し、や、か、釜、の、流、れ、を、
よ、う、に、治、理、す、る、と、い、う、務、め、を、
清、化、を、待、た、ず、に、上、り、の、
浄、化、を、待、た、ず、に、上、り、の、
地、方、に、権、力、が、あ、る、と、い、う、務、め、を、
い、ま、分、問、わ、れ、て、住、民、の、
あ、る、と、い、う、務、め、を、